

2012年3月期 第2四半期決算説明会

2011年11月25日

 イメージ情報開発株式会社

大証JASDAQ：証券コード 3803

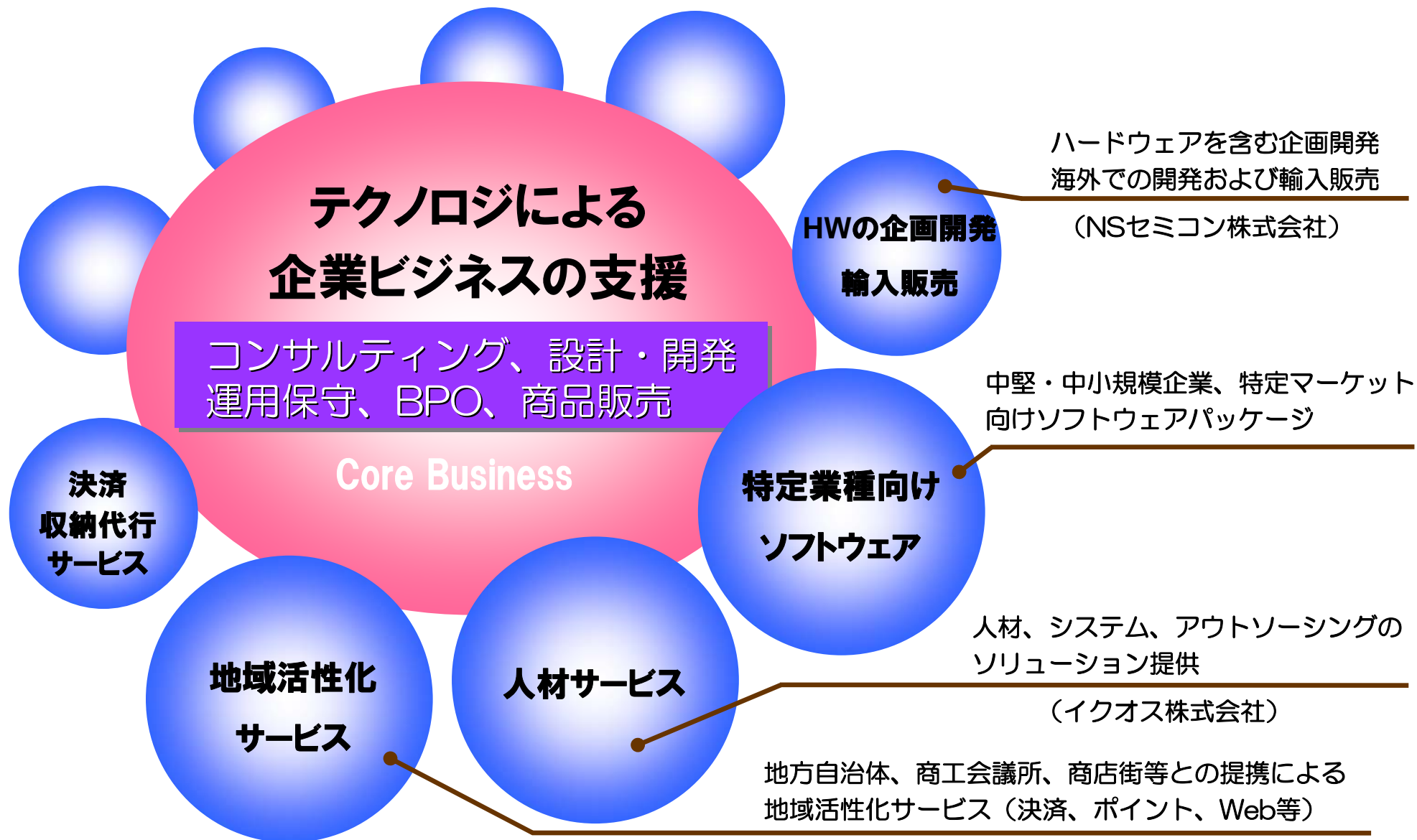
I グループ概要

II 2012年3月期 第2四半期の決算概要

III 2012年3月期 通期の見通し

【設 立】	1975年（昭和50年）10月
【代 表 者】	代表取締役社長 代永 拓史
【資 本 金】	4億6,705万円
【事 業 内 容】	情報システムの企画・開発、保守・管理運営
【本社所在地】	東京都千代田区猿楽町2-4-11
【子 会 社】	2社（NSセミコン株式会社、イクオス株式会社）
【沿 革】	昭和50年10月 会社設立 昭和51年4月 コンピュータ&イメージデータの複合処理事業を開始 昭和59年4月 システムインテグレーション事業に進出 平成16年4月 セキュリティサービス販売を開始 平成17年9月 インターネットデータセンター開設 平成18年4月 大阪証券取引所へ上場（現JASDAQ）へ株式上場 平成19年5月 本社事務所を東京都港区芝大門に移転 平成21年7月 NSセミコン株式会社を子会社化 平成21年12月 イクオス株式会社設立 平成23年7月 本社事務所を東京都千代田区猿楽町に移転

- システム開発を中心とした総合サービスによる『企業ビジネスの支援』、シナジーの得られる製品・サービスで構成します。



I グループ概要

II 2012年3月期 第2四半期の決算概要

III 2012年3月期 通期の見通し

■ 当第2四半期連結業績

◎ 売上高 359百万円(前年同期比7.3%減)

システム構築案件の受注が堅調に推移
商品販売および商品保守の売上減少

◎ 経常損失 33百万円(前年同期:経常損失124百万円)

コンサルティング・設計・構築の売上増による損失縮小
新規サービスの立ち上げに伴う先行投資

◎ 純損失 61百万円(前年同期:純損失139百万円)

貸倒引当金繰入額28百万円等の特別損失計上

■ 事業進捗状況

IT総合ソリューションカンパニーの実現に向けて事業を推進

◎ IT支援サービスの推進

- ・新規ソリューションの構築とソリューション営業の強化
- ・人材教育、技術蓄積の強化
- ・システムコンサルティング・設計構築案件の受注が堅調に推移
- ・スマートフォンソリューションの構築、新規案件の受注
- ・デジタルサイネージによる地域活性化ソリューションの構築
デジタルサイネージジャパン2011出展

◎ 自社プロダクトサービスの促進

- ・段ボールメーカー向け基幹システム『i-case（アイケース）』の機能強化
プロモーション強化（A-PACK 2011 OSAKA 出展）、見込み案件の拡大

◎ ハードウェア関連サービスの推進

- ・電子機器の販売は採算性を重視した営業活動に転換。収益性の向上

◎ BPO/サービスの強化

- ・ 決済サービス、地域サービスの推進（契約団体数70）
- ・ 新規決済サービスの構築（新規決済端末、支払オプション等）
- ・ 医療機関向けサービス、人材関連サービスの深耕

■ 経営インフラの強化を実施

◎ 管理体制の強化

- ・ プロジェクト管理体制、要員管理体制の強化

◎ 本社移転

- ・ 7月に千代田区に移転。固定費の圧縮、業務効率の向上

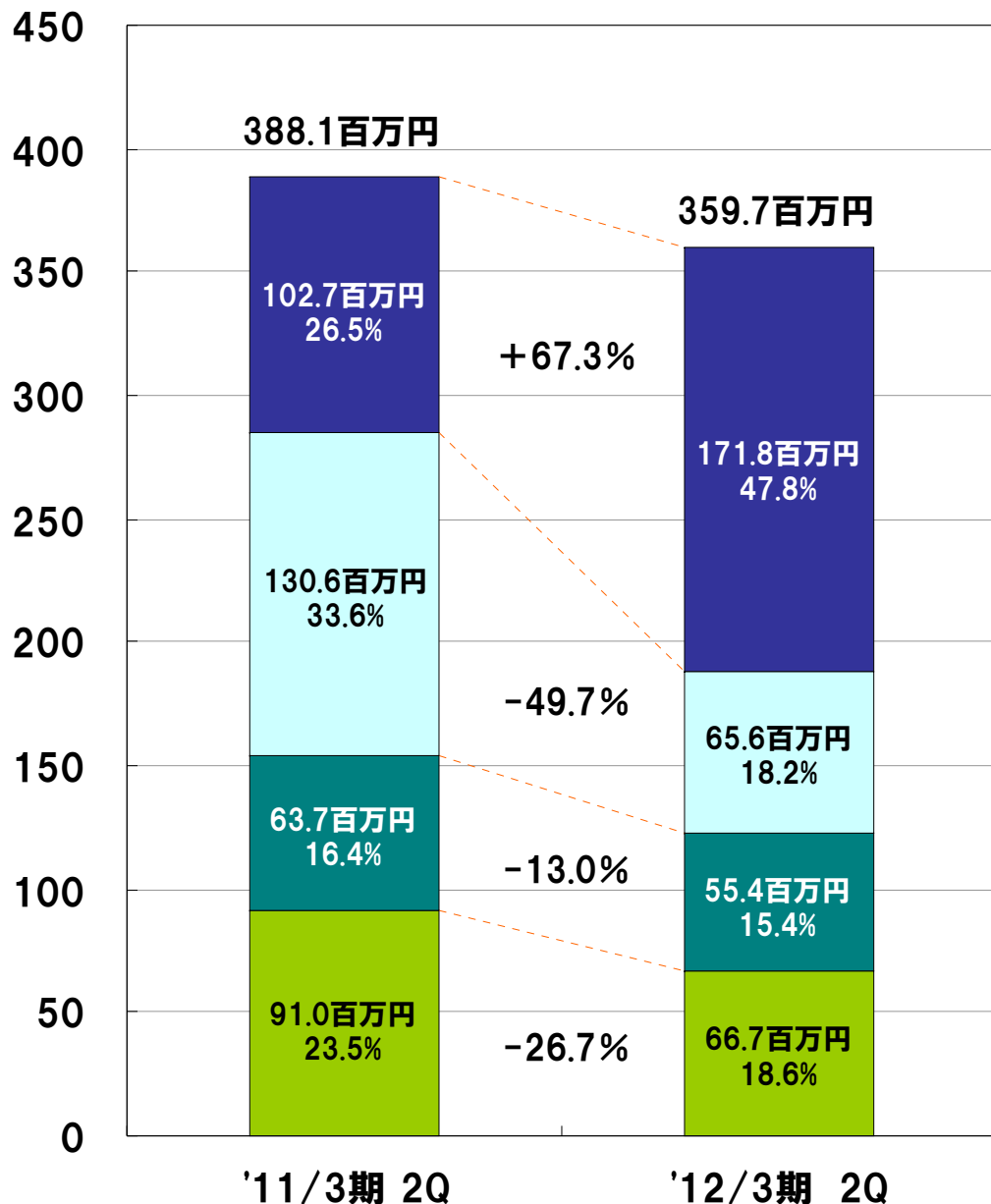
■ 売上高 前年同期比で7.3%減、損失は縮小

【単位：百万円】

	‘12/3期2Q	‘11/3期2Q	対前年同期比	
			増減額	増減率 (%)
売上高	359	388	△28	△7.3
売上総利益	96	61	35	58.3
販管費	142	202	△60	△29.8
営業損失(△)	△45	△141	95	—
経常損失(△)	△33	△124	91	—
当期純損失(△)	△61	△139	78	—

- ✓ 商品保守等の減少により売上高は減少したが、収益性の高いシステム構築案件の増加により売上総利益が増加
- ✓ 売上総利益の増加、販管費の抑制により、営業損失が縮小
- ✓ 貸倒引当金繰入額28百万円等の特別損失を計上

【単位:百万円】



コンサルティング/設計/構築

コンサルティング、システム設計構築案件の受注が堅調に推移

デジタルサイネージ、スマートフォンソリューション関連案件を新規受注

運用/保守

大型システム案件の完了に伴い、商品保守が減少

商品販売

収益性を重視した営業活動に転換したことにより売上高が減少

BPO/サービス

新サービスの構築を行ったが、立ち上げの遅延により減収

【単位：百万円】

	‘11/09末	‘11/03末	増減額	増減率 (%)
資産合計	999	1,023	△23	△2.3
流動資産	730	767	△36	△4.8
固定資産	269	256	12	5.0
負債合計	249	212	36	17.3
流動負債	170	133	37	27.7
固定負債	78	78	△0	△0.3
純資産合計	750	811	△60	△7.5
負債純資産合計	999	1,023	△23	△2.3

- ✓ 流動資産：現預金517百万円、受取手形及び売掛金219百万円
- ✓ 固定資産：投資有価証券129百万円、敷金及び保証金85百万円
- ✓ 流動負債：買掛金70百万円、賞与引当金32百万円
- ✓ 固定負債：退職給付引当金72百万円
- ✓ 純資産：資本金467百万円、資本剰余金510百万円、利益剰余金△130百万円、自己株式△95百万円

【単位：百万円】

	‘12/3期2Q	‘11/3期2Q
営業活動によるキャッシュフロー	△19	△148
投資活動によるキャッシュフロー	△15	△82
財務活動によるキャッシュフロー	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△34	△230
現金及び現金同等物の期末残高	114	211

- ✓ 営業活動CF：税金等調整前四半期純損失△65百万円、売上債権の増加額△41百万円
- ✓ 投資活動CF：有形固定資産取得による支出△12百万円（主に本社移転関連）
- ✓ 財務活動CF：過年度の未払配当金支払のみ

- I グループ概要
- II 2012年3月期 第2四半期の決算概要
- III 2012年3月期 通期の見通し

■ 経営体制の強化

- ✓ 取締役2名を選任、経営体制の強化
 - ・ 臨時株主総会を開催予定（平成23年12月27日）

■ 事業の確実な推進による下期黒字転換

- ✓ IT支援分野における継続的な受注とプロジェクト推進の強化
 - ・ 金融・製造・流通分野向けサービスの深耕
 - ・ デジタルサイネージおよびスマートフォンソリューションの地域展開
 - ・ プロジェクト管理手法の改善
- ✓ 自社プロダクトの販売促進
 - ・ i-caseのプロモーション強化
- ✓ BPO・サービス分野での営業促進、収益性の向上
 - ・ デジタルサイネージおよびスマートフォンソリューションとのシナジーによる地域向けサービスの営業強化
 - ・ 決済サービス、医療機関向けサービス等の新規サービスの営業強化、収益化

■ 下期黒字化により、通期の損失を縮小

【単位：百万円】

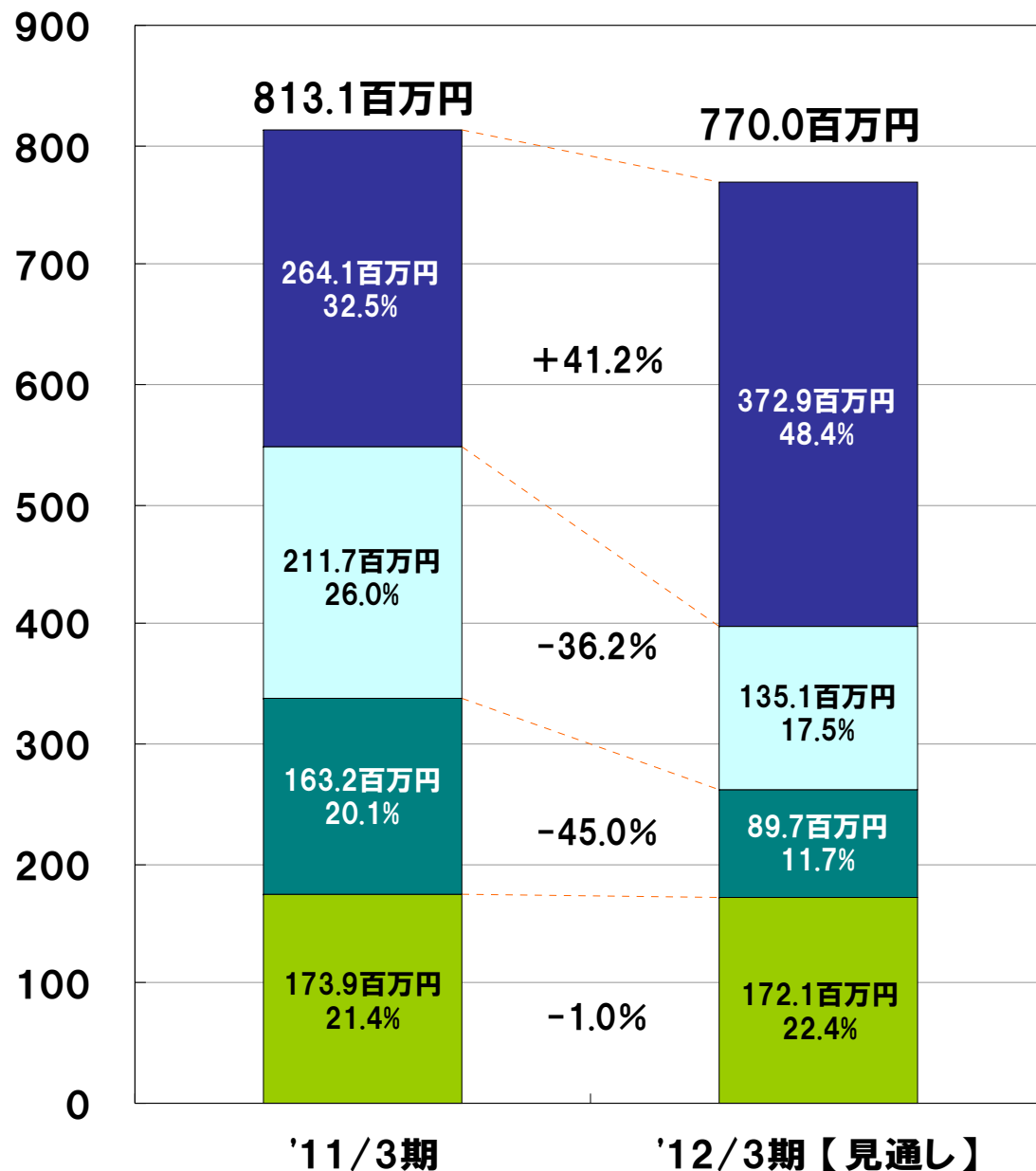
	‘11/3期 (実績)	‘12/3期 見通し			
		上期	下期	通期	増減率(%)
売上高	813	359	411	770	△5.3
営業損益	△153	△45	46	1	—
経常損益	△85	△33	46	13	—
当期純損益	△108	△61	39	△22	—

- ✓ 下期黒字化により、通期の損失を縮小
- ✓ IT支援分野の売上増、プロジェクト管理強化による収益の向上
- ✓ 本社移転等によるコストの抑制
- ✓ 新規サービスの収益化

2012年3月期 通期の見通し(売上構成)



【単位:百万円】



コンサルティング/設計/構築

金融・製造・流通業を中心に増収
デジタルサイネージ、スマートフォン
ソリューションも寄与

運用/保守

前年度の大型商品保守案件の完了により
減収

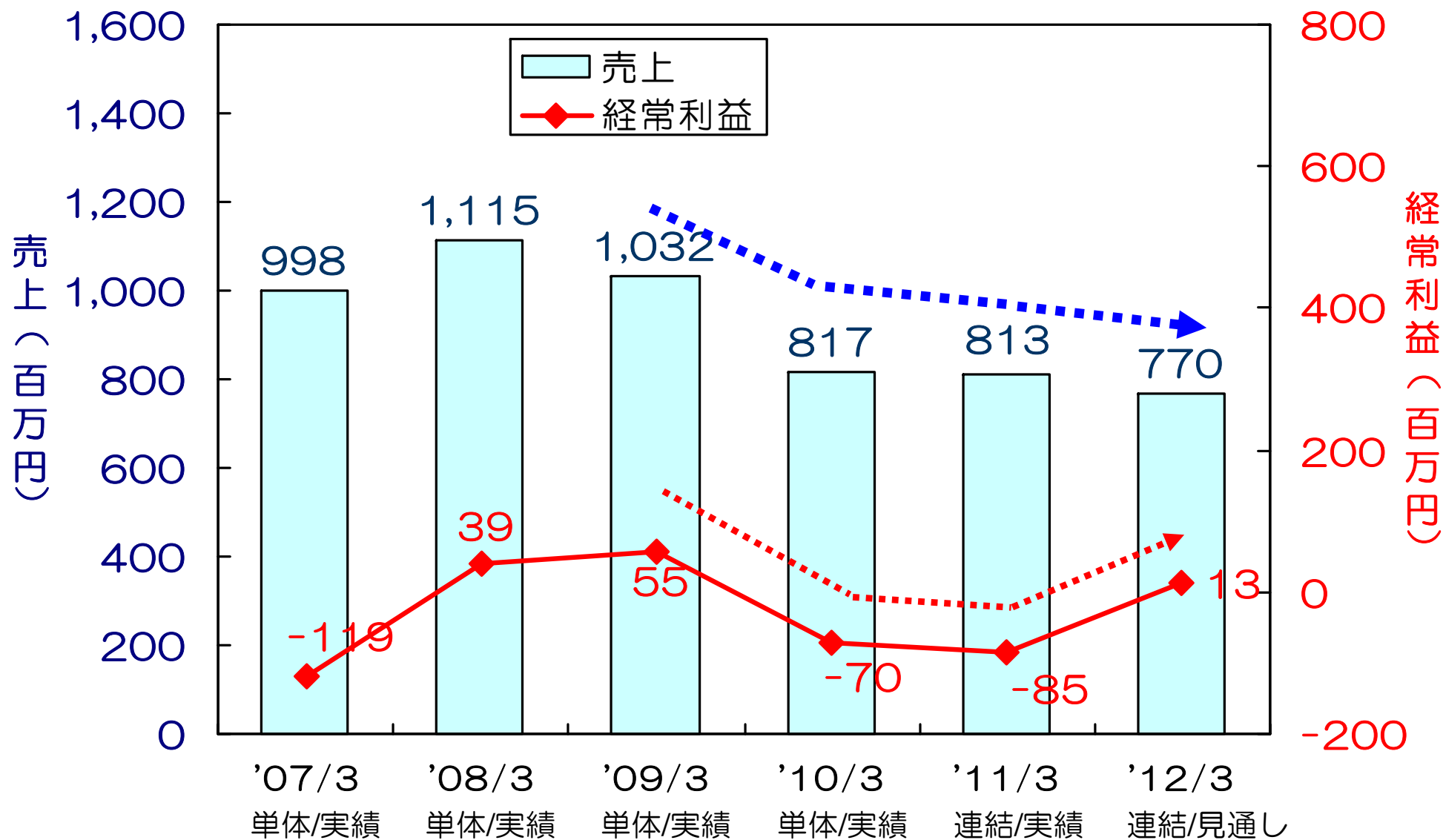
商品販売

収益性を重視した営業活動により減収

BPO/サービス

決済サービス、医療機関向けサービス等の
推進により前年度並み

■ 事業構造の見直しによる収益性の改善と今後の成長に向けた足場構築



本日は、ありがとうございました。

〈お問い合わせ先〉

担当窓口： イメージ情報開発株式会社

取締役経営管理室長 百瀬 哲

TEL : 03 - 5217 - 7811

FAX : 03 - 5217 - 7816

URL : <http://www.image-inf.co.jp/>

本資料には、将来にわたる見通しに関する記述が含まれております。これらは現時点での予測であり、実際の業績は、今後の経済動向やその他の社会・政治情勢など様々なリスクや不確定要素により、見通しとは異なる結果となる可能性があることをご了承ください。